



シーブドッグ！  
「**本当の階層別組織論**」

—みんな一生懸命だから、組織は理不尽になる—

根本 健太郎



## 共感せずとも理解する

この本を手にとつてくれて、ありがとうございます。

あなたは、ビジネスマン（ウーマン）ですか。

それとも自営業者、教育者、農家、学生、主婦ですか。

いずれにしても、社会に身を置く限り、組織や集団とは何らかの係わりを持つている事と思います。このご時世、世を捨てて坊主になったとしても、宗派本部や地域住民との関係を持たなければなりません。壇家維持の為に、マーケティング知識だっているかもしれないですね。この本は、そんな個人と集団との係わりを書いたものです。

組織や集団の中にいると、「こんなはずじゃなかった……」とか「どうしてそんな事言うのかな……」とか、不思議に思う事つて多いですよ。

そんな時、相手が個人なら避けて会わないようにする、という手もありますが、会社などの団体ですとそういう訳にもいきません。ず〜と逃げ回る訳にはいけません。

だからといって集団の中で、常に誰かと対決するのは明らかにシンドイ毎日です。

でも大丈夫。不安やいらだちは相手を知らないか、そうする理由を知らないかの、どちらかから発生したもののなのです。

相手がどんな立場で、どんな理由でそうしているのかを理解してあげれば、衝突は随分回避できるものです。

この本はビジネス本です。分類としては組織論に近い内容です。

でも学説やセオリーを羅列したものではありません。

組織や集団の中にある色々な人々が、どんな立場で、なぜそんな考えになったのか、をわかりやすく階層別に解説したものです。

便宜上、企業組織を中心に話を進めていきますが、人の存するところであれば、皆同じような力ラクリになっているはずですよ。

あなたと立場が違う人達を理解してあげてください。共感する必要はありません。ただ理解してください。

そして自身がその立場になった時、自分ならどうするのか、想像してみてください。

あなたが、これから社会人としてスタートするなら、飛び込む先を知っておくのはとても大切な事です。企業社会は一見すると理不尽な世界のようにですが、そうなったのにはチャントした理由があります。不必要な軋轢を避ける為にも、今のうちから知っておいて損はありません。

## 人は皆、立場によって態度が変わるのが普通です

この本には組織階層別にポジションを表す、比喩的表現が使われています。

- ・ 羊飼 い …………… 経営者。自分がかつて羊だった事やオオカミであった事も覚えていない。
- ・ 羊 …………… 従業員。いつも追い立てられている。諦め、疑問、後悔、野心などを従順な中に併せ持つ。
- ・ シープドッグ …………… 管理職。常に矛盾に苦しんでいる。管理し、管理される唯一の存在。
- ・ 子ども …………… 後継者。羊飼いになる事以外は考えていない。全てに対して傍観者としての姿勢をとっている。
- ・ オオカミ …………… 野心家。シードッグにまぎれて羊飼いを狙うか、飛び出して牧場を作るか。しかし、まだ何者でもない。

それぞれが必死に自分の役割を全うしようとしています。自分のポジションを確保しようとして

います。

必死であるが故、他人への配慮が欠けてしまう場面もしばしば散見されるのです。

皆、私達と同じ普通の人です。普通の人、精一杯頑張つて、やっと普通なのです。偉そうな社長もキャリアアウーマンも、みんな同じです。

違うのは立場だけなのです。

つまり、人は立場によって態度が変わるのが普通なのです。だって本音だけで生きていくのは、思いのほかシンドイと、皆さんわかっているからです。